

薬学・科学で用いられる英単語の  
接尾語に関する基本的理解の試み

牧

純

---

松 山 大 学  
言語文化研究 第33巻第2号 (抜刷)  
2014年3月

Matsuyama University  
Studies in Language and Literature  
Vol. 33 No. 2 March 2014

# 薬学・科学で用いられる英単語の 接尾語に関する基本的理解の試み

牧			純 <sup>*)</sup>
関	谷	洋	志 <sup>*)</sup>
田	邊	知	孝 <sup>**)</sup>
坂	上		宏 <sup>***)</sup>
畑		晶	之 <sup>****)</sup>
玉	井	栄	治 <sup>*)</sup>
舟	橋	達	也 <sup>**)</sup>

## 要 約

A～Z で始まる英単語の接尾語について、文献資料等<sup>1-18)</sup> をもとにした蒐集・整理を試みた。その結果、専門的に特殊なものも含めれば、A letter から Z letter までのいずれにおいても、それぞれの letter で始まる数々の例が見出された。この論文では、薬学系・医療系の教育に関係の深い大切なものに重点をおいて、それらを例示したが、関連周辺分野又は社会一般にかかわるものも、比較・参考の意味でとりあげた。これまで、学生たちは専門用語を機械的に記憶させられることが多かった。しかし、今回提示されたように、接頭語と並んで接尾語の的確な把握も、専門用語の語義の理解に役立つと思われる、学部学生および大学院生の教育現場での本論文の活用が期待される。

---

\*) 松山大学薬学部生体環境系薬学講座感染症学研究室  
\*\*) 松山大学薬学部生体環境系薬学講座衛生化学研究室  
\*\*\*) 明海大学歯学部病態診断治療学講座薬理学分野  
\*\*\*\*) 松山大学薬学部物理系薬学講座薬品物理化学研究室

## 序 論

筆者らは薬学部の学生たちを対象に、感染症、衛生学、生化学、薬理学、物理化学、科学・薬学史、薬学英语等の教育に携わっていると、些細なことのようにはあるが、大変気になることがある。そのひとつは、学術系英単語のスペリングで、例えばlとrがしばしば入れ替わっていることである。彼らのレポート、答案などでこのようなミスが後を絶たない。代表的な例として感染症の *malaria* を *maralia* と間違えることがあげられる。このような間違いを起こさないようにするための何らかの方策はないだろうかと思案し、これまで断片的ながら接頭語、接尾語を随所で教えてきた。mal-aria の mal は“悪い”意味の接頭語で、aria は“空気”に相当するイタリア語であると説明している。

漢字には、へん(偏)があることを真に認識すれば、間違いも少なく記せることを我々は日常生活でも認識している。例えば、“さんずい”は“水のようなもの”と関係がある。「液」も「泳」もそうだ。それと似たことが英単語の接頭語にもあてはまると考え、既に薬学・科学系の接頭語に関する論説<sup>8)</sup>を報告した。その後、漢字ならさしずめ、つくり(旁)に相当するような英単語の接尾語にも注目している。このような背景があり、予備的な小論は既に発表した<sup>5)</sup>。

漢字の構成に関して、次のような部分も注目している。例えば、商業取引と関係のある「購入」「売買」などの字には「貝」の字が含まれている。これはその昔、「貝」が貨幣に用いられていた名残と解釈される。筆者らは英単語に関して、これに相当することは未だ見出していない。しかし、少なくともこれまで筆者らが検討したところ、科学、化学の専門用語は接頭語や接尾語をうまく組み入れた合理的な単語が多いとの印象を強く受けている。

接尾語には品詞を変える機能があるとよく聞くところである。昔習ったことを思い出せば、改めてその通りであると痛感する。例えば、名詞 hap (幸・偶然)である。語尾に -y や -en が付くと、それぞれ形容詞 happy (幸せな)、動詞

happen (起こる)。Perhaps もその例であろう。“hap に付き”がもとの意味合いと思われる。このようにわかりやすさも感じるが、なぜ perhaps には語尾に -s があるのであろうか？ 百分率 percent は 100 に付きで理解できるが、この単語では語尾に -s が無い！ この辺りの検討も今回の研究対象とした。後述するので、まずは置いておいて、本論の筋に戻る。

以上の例を要約すると、用語を合理的に解析することで、理解と記憶が大いに助けられると期待出来そうである。今回の執筆では、かなりの分量となることは覚悟しつつ、薬学部の学生たちの学習の基本的な資料となることを目指した。英単語の理解には、構成成分のひとつである接頭語と並んで接尾語も極めて大切なものであることも学生たちにもっと徹底的に理解してもらいたいと考えている。

前報<sup>15)</sup>に続いて、今回は接尾語についてかなり広く調べ整理したので報告する。今回の筆者たちは薬学・歯学に属する者たちがこの小論を仕上げた。薬学英語教育に直接従事している執筆者もいるが、元来は外国語教育の専門家ではないので、随所に不備がないかと不安が残る。言語学的理論も欠けている。語学教育ご担当の諸先生方のご意見、助言をいただける契機ともなれば幸甚である。

## 材 料 ・ 方 法

今回取り上げた接尾語は筆者らが長年仕事の関係で常日常、耳目に親しんできたものが中心となっている。しかし、純粋な科学物質に関する記載は、膨大なものとなることから別の機会を考えており、今回は最小限とし、関係のもののみにとどめた。

執筆に際して改めて参照した文献、辞書、成書、著作等<sup>1-18)</sup>を最後に記した。

薬学・科学分野の英単語のなかで、A から Z の 26 文字それぞれから始まる接尾語の例を示すことにした。ただし、専門用語以外も、関連性があれば、一

般的な、あるいは周辺の単語をもとり入れることで、全体像の糸口の把握を試みた。また、**internationally-minded**のように、未だ接尾語として確立していないかもしれないものも、接尾語的接辞として一応取り上げてみた。

## 結果・考察

以下のように、aからzの各alphabetで始まる接尾語を掲げることが出来た。

### A

**-a** 女性名の語尾にしばしば-aが見られる。接尾語であるとの意識は余りないかもしれないが、実は女性名を示す大切な語尾であると考えられよう。このような表記は、発音・アクセントは異なっても、ラテン系のみならず欧米語では、共通した事実である。ひとつには、国々を超えて王室の婚姻関係が結ばれる伝統も手伝っているのであろう。

**Maria** マリア

**Theresia** テレジア（これはドイツ語式発音）

**Victoria** ビクトリア

**-able, -ible** よく知られているように、“可能”の意味の接尾語。

**available** 利用可能な

**comparable** 比肩する

**desirable** 望ましい

**digestible** 消化できる

**eatable** どうか食べられる。反対語は **uneatable**

**edible** 食用に適する。対語は **inedible**。小さな子供が大人に向かって質問する（著者牧 純も質問したことがある）“金魚って、食べられるの？”を英訳するのは意外と難しい。**eatable**と表記すべきか **edible**か？ しかし、

子供がこのような形容詞を使い分けているとは思えない。おそらく、“Can we eat the goldfish?”あたりであろう。

**habitable** 居住可能な

**portable** 携帯可能な。portable television は現代では最早耳にすることは稀である。

**sensible** 分別ある。反対語 **insensible** を学生には教える。

**understandable** 理解できる

**variable** 可変の。免疫学で、抗体の variable region (可変部)は、constant region (定常部または不変部)とともに、医療系学生が学ぶ用語である。

**valuable** 貴重な。あまり意識しないかもしれないが、value + ~able

**-ac** “～的、～性”というような意味の接尾語。

**cardiac** 心臓の

**maniac** マニアック (日本語にもなっている)

**zodiac** 十干十二支に出てくる動物たちのこと、いわゆる何年 (なにどし) 生まれかである。

**-aceae** 細菌の分類上における“科”を意味する接尾語<sup>17)</sup>

**Campylobacteriaceae** カンピロバクター科

**Enterobacteriaceae** 腸内細菌科

**Staphylococcaceae** スタフィロコッカス科

植物の科名でも、この語尾は当てはまりそうであるが、必ずしも統一がとれていない<sup>18)</sup> 薬用植物の専門家からは、**-aceae**に統一の方向であると聞く。

**Araliaceae** ウコギ科(典型的なものに薬用のチョウセンニンジンが含まれる)。

**Anacardiaceae** ウルシ科

**Umbelliferae** セリ科 (ちなみに、食用のニンジンはこの科に属し、チョウセンニンジンとは全く別物である)。文献<sup>18)</sup>では、発行の時点でみる限り、

語尾は *-aceae* とはなっていない。

**-ade** “行為” “飲み物” (文献<sup>5)</sup> にこの2つの記載があるが、両者の関係に興味  
がもたれる) を示す接尾語。

**blockade** 封鎖, 遮断

**barricade** バリケード

**crusade** 十字軍戦士, 社会運動参加者

**lemonade** レモネード

**marmalade** ママレード

**tirade** 長い演説, 長広舌

**-age** “状態” を示す接尾語。

**bondage** 結合

**coinage** 貨幣制度

**marriage** 婚姻

**mileage** マイレッジ

**storage** 貯蔵

**percentage** 百分率

**-aholic, -oholic** “アルコール中毒” からの連想からの造語の接尾語。

**alcoholic** アルコール (性) の

**drugholic** 薬漬けの

**workaholic** 仕事中毒

**-al** “行為・過程” という意味合いの接尾語。

**approval** 容認

**arrival** 到着

**manual** マニュアル, 手引書

**proposal** 申し出

**rental** レンタル

**revival** 再生

**survival** 生存

**trial** 試み

**-algia** “痛み”を意味する接尾語。

**arthralgia** 関節痛

**neuralgia** 神経痛

**nostalgia** 郷愁。これは意外である。ドイツ語で郷愁のことを **Heimweh** というが、その **weh** (ドイツ語の中性名詞 **das Weh**) は英語の **ache** 悲しみ、嘆き (文語) の意味である。郷愁もいわゆるホームシックと考えれば、やはり“痛み”を伴うと解釈される。**nost** は、ギリシア語で“故郷へ”の意味がある。英独がそれぞれに対応している。

**-an** “～人”を示す接尾語。

**African** アフリカ人

**American** アメリカ人

**Bohemian** ボヘミア人

**clinician** 臨床家

**Hungarian** ハンガリー人

**pedestrian** 歩行者

**Persian** ペルシャ人, “ペルシャの” という意味もある。

Phillip remembered the Persian rug which the person (the spelling of the name of which begins with C letter but the present author remembers only too vaguely) had given him (William Somerset Maugham 作 “Of Human Bondage”).

クロンショーがフィリップにあげたベルシャ絨毯をフィリップは思い出した。この一文を、おぼろげながら、本論文の筆者の一人牧 純は思い出した。1960年代の大学受験の英語では、模擬試験も含めて、英文学作品が大いに出題された。現在とは、かなり傾向を異にするようである。

**physician** 医者，内科医で，対語はもちろん **surgeon** 外科医。

**Republican** 共和黨員

**technician** テクニシャン

**Victorian** ビクトリア朝（風）

**-ana** “所属”の意味合いの接尾語であるが，人々に限定した意味合いはない。

**Africana** アフリカ誌

**Americana** アメリカ風物誌

**Asiana** アジア誌

**-ance** “行為・状態”を示す接尾語。

**acceptance** 受理（受領とは区別）科学の世界では厳密に区別する。

**appearance** 外見，模様

**assistance** 助けること

**attendance** 出席

**resonance** 共鳴

**-ant** “行為者”を示す接尾語。

**accountant** 会計士

**applicant** 応募者

**assistant** 助手

**attendant** 付き添い

**descendant** 子孫

**dominant** 優性 (の)

**habitant** 居住者, **inhabitant** もほぼ同義。

**reactant** 反応物質

**-arch** “支持体制”を意味する接尾語。

**anarch** 謀反の首領。 **anarchist** 参照。

**monarch** 専制政治

**Heptarch** (古代イギリスの) 七王朝, ヘプターキ。やや難しい大学入試「世界史」に対応できるかもしれない。

**-ard** “特異な属性”を示す接尾語。

**coward** 臆病

**mustard** カラシ (アブラナ科の植物より得られる)

**wizard** 男の魔術師であり, 一応, **witch** 魔女の対語と考えられている。

**-arian** “人 (ひとつに集中)”の意味の接尾語。スペリングによっては, **-ian** となることもある (本論文 p. 220 参照)。

**barbarian** 野蛮人

**humanitarian** 人道主義

**librarian** 図書館員

**vegetarian** 菜食主義者ベジタリアン

**-ary** “属する, 関連のある”意味合いの接尾語。

**boundary** 境界の

**dictionary** 辞書

**elementary** 初期の

**imaginary** 想像上の

**rudimentary** 初歩的な, 未発達の

**sedentary** 座ったままの, 定住性の (反対語の“移動性の”は migratory)

**voluntary** 有志

**-ase** その単語が“**酵素**”であることを意味する接尾語。

酵素名のカタカナ表記では, 医学・薬学系における伝統的なドイツ語教育の影響で“**～アーゼ**”と記すことが多い。例えばジアスターゼ。英語読みなら, “**～エイス**”であろう。これまで国際学会などを除いては, 日本国内ではあまり英語読みの発音を耳にすることがなかったが, 最近では DNA ジャイレイスのような例外もある。なぜそうになっているのかは興味を持たれる。検討に値するであろう。今後“**～エイス**”式の発音が増えるかもしれないが, 変な不統一と混乱のもたらされないことが肝要である。本著者等は, もはや日本語化した“**アーゼ**”の一通りでよいと, 今のところ考えている。酵素名であることが明瞭であるからである。酵素名の例を挙げると枚挙に暇がないので, ほんの2～3の例示にとどめる。

**caspase** **cysteine** を活性中心に持ち, **aspartic acid** で切断する, アポトーシスの実行に重要な働きをする酵素 **～ase** である。

**phosphatase** 燐酸エステル加水分解**酵素**

**protease** 蛋白質分解**酵素**

**hemoglobinase** ヘモグロビン分解**酵素** (これは研究上の造語例であるが, 類似例が多数ある)

**-assay** “**検定**”の意味の接尾語。

**bioassay** 生物活性の測定

**radioimmunoassay** ラジオイミュノアッセイ

**-ate** “因果関係, 特徴”を示す接尾語。

- candidate** 候補者
- carbonate** 炭素
- distillate** 蒸留する
- exudate** 滲出するもの
- graduate** 卒業する
- indicate** 指し示す
- precipitate** 沈殿する
- sophisticate** 洗練させる

## B

**-bacter, -bacterium** 細菌で, その形状が“棒”に似ていることから, “桿菌”を意味する接尾語として認められる。

- Acinetobacter* アシネトバクター属菌
- Campylobacter* カンピロバクター属菌
- Corynebacterium* コリネバクテリウム属菌

**-based** “基礎にした性質”の意味の形容詞の接尾語的な接辞。字義はたいへんわかりやすいし, これを用いた科学分野の新造語が多そうである。しかし, 濫用は慎みたい。

- computer-based** 現代日本の6年制薬学教育ではいわゆる CBT (computer-based testing) が今では世によく知られるところとなりつつある。
- structure-based drug design** 構造・活性相関を基にした医薬品のデザイン。略して SBDD。

**-blast** “芽細胞”の意味の接尾語。

- ectoblast** 外胚葉 (ecto- は“外の”意味の接頭語)

**epiblast** 胚盤葉上層（接頭語の epi- は“上皮”の意味がある）

**erythroblast** 赤芽球, 赤芽細胞

**fibroblast** 線維芽細胞。fibro- は, fiber で容易に推察されるように, “線維”の意の接頭語である。接頭語と接尾語を逐一訳して合成した, わかりやすい又覚えやすい訳語である。

**megaloblast**（悪性貧血にみられる）巨大赤芽球, megal- はもちろん“巨大な”の意味である。

**-bound** “～方面の, 閉ざされた”意味の接尾語。これに関して, 他でも例があるが, 現在でもハイフンを必要とする接尾語的接辞も存在する。

**eastbound** 東の方向へ

**fog-bound** 霧に閉ざされた

**ice-bound** 氷に閉じ込められた

**-boy** 原義は“束縛された男”を意味する接尾語。

**bellboy** ホテルなどのいわゆるボーイ

**paperboy** 新聞配達少年

**schoolboy** 男子生徒 ⇔ schoolgirl（対義語：女子生徒）

**shopboy** 男子店員

## C

**-cede, -ceed, -cess** “往来”に関係した接尾語<sup>12)</sup>

**accede** 歩み寄って認める, 容認する。ac- は積極性を示す接頭語。

**concede** 譲歩する

**exceed** しのぐ。接頭語 ex- は, 外への意味。

**precede** 先行する。pre- は先の意味。

**process** 日本語となっているが, 進行過程。接頭語 pro- は, もちろん“前に”

の意味。

**recede** 退く, 後退する

**-ceive** “取る・いだく” に関係した接尾語。

**conceive** 考えを心に抱くことから, 恨み。子をはらむ意味もある。

**receive** 受け取る。名詞は **receipt**。

**perceive** 知覚する。perceived noise decibel 知覚騒音の単位 (騒音デシベル)。

**-cele** “瘤, 膨れ” の意味の接尾語。

**cystocele** 嚢胞 (のうほう), 包囊。cysto- 自体に “囊” の意味がある。

**varicocele** 静脈節瘤

**-centesis** “刺” 意味の接尾語。

**paracentesis** 穿刺

**-centric** “中心をなす” 意味の接尾語。

**biocentric** 生命中心の

**eccentric** 変に偏った, 中心からはずれた, 偏心の (生物学用語)。

**matricentric** 母親中心の, 母方の

**excenter** 傍心 (傍心円の中心)

**-cern, -cret** “離すこと” に関係した接尾語<sup>12)</sup>

**concern** 関係する, 拘る。

**discern** 区別する

**excrete** 排泄する

**secrete** 分泌する。名詞形は **secretion** 分泌

**-cide** “殺す” 意味の接尾語。

**bactericide** 抗菌剤

**biocide** 生命殺傷の

**ecocide** エコサイド, 環境汚染による生態系破壊

**genocide** 大虐殺

**fratricide** 兄弟殺し

**insecticide** 殺虫剤 (語義的には昆虫が対象であるが, 実際にはダニなどの節足動物もターゲットとして扱う)

**matricide** 母親殺し, 例えば, ローマ皇帝ネロ (いわゆる暴君ネロ) は実の母親を殺したといわれる。

**patricide** 父親殺し

**pesticide** 殺虫剤

**suicide** 自殺

**-cise** “切る” に関係した接尾語。

**exercise** 練習する

**concise** 批判する

**precise** 正確な (前もって切る, 正確に切る意味から)

**-cite** “呼ぶ” に関係した接尾語。

**excite** 刺激する, 励起する

**incite** 鼓舞する

**recite** 暗誦する (再び内容を呼び起こす意味から)

**solicit** 懇願する

**-claim** “叫ぶ” に関係した接尾語。

**declaim** 演説する, 朗読する, 熱弁をふるう

**exclaim** 叫ぶ

**proclaim** 前に (pro-) 向かって叫ぶことから“宣言する”，反対語は **declaim**

**reclaim** 干拓する

**-cle** (-cule) “小さい”意味の接尾語（いわゆる縮小辞）。

**article** 記事

**chronicle** 年代記

**cuticle** 角皮（寄生線虫類体壁の最も外側の層），その下は **sub-cuticle**。キューティクル-ケアは日常生活で，耳にする表現。

**particle** 小粒子，例えば PM2.5 ミクロン

**tentacle** 触角，触手

**testicle** 睾丸

**uncle** おじ（日本語表記の伯父・叔父に示されるような，年齢の上下の区別は英語にはどうも見当たらない。aunt 伯母・叔母も同様である。）

**vesicle** 小胞（生物学用語）

**-coccus** 細菌の学名の接尾語で，“～球菌”という属名を意味する。

**Enterococcus** 腸球菌

**Staphylococcus** ブドウ球菌

**Streptococcus** 連鎖球菌

細菌でなくて，条虫（サナダムシ）であるが，**Echinococcus** なる属名（エキノコックス属）にも接尾語としての **-coccus** が認められる。

その幼虫は人体内などで，“球状”を呈する。日本では，北海道で大変な問題となっている風土病のひとつである。キタキツネ，イヌなどの糞便中に排出されるその虫卵が，なんらかのひょうしにヒトの口から入り，孵化した幼虫が体内各所で増殖し，感染者は死の転帰をとることが多い。

**-coele** “体腔”の意味の接尾語。

**hemocoele** (節足動物・軟体動物の) 血**体腔**。接頭語 **hemo-** は、**hemoglobin** に見られるように「血液」の意味。

**-cracy** “政治”を意味する接尾語。

**aristocracy** 貴族**政治**

**beaurocracy** 社交界

**democracy** 民主主義

**meritocracy** 能力重視主義

**-craft** “力”を意味する接尾語。

**aircraft** 航空機

**hovercraft** ホバークラフト (水陸両用, 商標)

**witchcraft** 魔力

**-cumb** “横たわる”意味の接尾語。

**procumbent** 前に**横たわる**, うつぶせの

**recumbent** 寄りかかる

**succumb** 降参する (suc- は下に寄りかかる意味)

**-cur** “走る”意味の接尾語。

**incur** 災いなどを**招く**

**occur** **起こる**, **存在する**。名詞は **occurrence**。

**recur** **再発する**。この名詞形である「再発 **recurrence**」はマラリアに関する専門用語でもある。

**-cure** “気をつける”意味の接尾語。

**accurate** 的確な

**procure** 調達する

**secure** 安全な, 名詞形はもちろん **security** (安全性)

**-cy** “性質・状態”を示す名詞をつくる接尾語。

**accuracy** 正確さ

**competency** 有能性

**democracy** 民主主義

**malignancy** 発癌性

**policy** 政策

**pregnancy** 妊娠

**-cyte** “細胞”の意味の接尾語。

**erythrocyte** (= red blood cell) 赤血球。これは薬学の初級学年の学生でも是非とも知るのみならず, 記憶しておくべきである。

**granulocyte** 顆粒球 (好中球・好酸球・好塩基球)

**leucocyte** (leukocyte) (= white blood cell) 白血球。一般にはリンパ球, 顆粒球 (好中球・好酸球・好塩基球), 単球の総称。

**lymphocyte** リンパ球。NK細胞, B細胞 (Bリンパ球), T細胞 (Tリンパ球)がある。なお, NK細胞 (腫瘍細胞を殺傷する細胞)は, 近年では細胞障害性T細胞 (CTL; cytotoxic T lymphocyte)と呼ばれることが多くなっている。

**megalocyte** 巨大赤血球

**monocyte** 単球 (これが血管の外に出て, 細菌や異物を貪食するマクロファージとなる)

**phagocyte** 食細胞 (マクロファージ, 樹状細胞, 好中球)

## D

**-derived** “由来する”意味の付加の表現。まだ熟していないので、ハイフンが必要。厳密には接尾語とはいえないかもしれないが、一応接尾語に関する本論文に入れておく。筆者らのいわゆる“接尾語的接辞”である。将来ハイフンが付されなくなれば、紛れもなく接尾語となる。

**myeloid-derived suppressor cell (MDSC)** ミエロイド由来サプレッサー細胞,  
骨髄由来免疫抑制細胞

**-dom** “領地・領域・範囲, 状態”とか“界”を意味する接尾語。

**kingdom** 王国。これはあまり知られていないかもしれないが、生物の自然分類で用いられる動物界、植物界の“界”なる呼称も **kingdom** である。現在5界説が有力。その上の単位 **domain** ドメインの考えも現れている。真正細菌、古細菌、真核生物の3つのドメインが唱えられている。

**freedom** 自由

**martyrdom** 殉教, 苦難

**wisdom** 知恵

**-dynia, -odynia** “痛み”の意味の接尾語。接頭語にもなる。例えば, **odynophagia** 嚥下痛で、この単語には接頭語 **odyno-** に“痛み”が含まれている（後述）。

**allodynia** 異痛症（有害でない刺激によって産み出される痛み）

**acrodynia** 先端疼痛症（水銀中毒の小児症例が典型的）

## E

**-ectomy** “切除”の意味で使われる接尾語。

**appendectomy** 盲腸の摘出

**gastrectomy** 胃摘出手術

**hepatectomy** 肝摘出手術

**hysterectomy** 子宮**切除術**

**mastectomy** 乳癌の**摘出**

**nephrectomy** 腎臓**摘出**

**-ed** よく知られているように、英語の“過去分詞”形を示す接尾語。これに関する例示は不要のようであるが、中には次のように、原義から遠ざかっているもの、または過去分詞の感覚が薄れているものもある。

**armed** 武装した, **備わった** (これは原義から遠ざかった例)

**interested** 興味ある

**-ee** “受身”を意味する接尾語。

**advisee** 指導を受けるもの

**employee** 被雇用者

**examinee** 被検者

**refugee** 避難民

**-eer** “人”を意味する接尾語。日本語化されている。

**engineer** エンジニア

**pioneer** パイオニア

**volunteer** 有志

**-emia** 血液の状態に関する表現に見られる接尾語。

**bacteremia** 菌血症 (血液中に細菌が存在する状態)

**hydraemia** 水血症

**hyperemia** 充血

**leukemia** 白血病

**parasitemia** 寄生虫感染率, 例えばマラリア病原体の寄生を受けている**赤血**

球の割合%をいう。

**-en** 名詞を動詞にする接尾語。

**happen** 起こる, 起きる。**hap** (幸, 偶然) + **-en** (この接尾語) = 動詞。

**lighten** 明かりを灯す。**enlighten** は, ご丁寧にも頭と尾の両方に付いている (強調の意味であろう)。

**richen** 豊かにする。**enrich** もある。

**-ence** “行為”に関する状態を示す接尾語。

**audience** 聴衆

**coincidence** 偶然

**correspondence** 通信

**dependence** 依存

**eloquence** 雄弁

**emergence** 緊急

**evidence** 証拠

**existence** 生存

**incidence** 起こること

**independence** 独立

**insistence** 主張

**intelligence** 知性

**obedience** 服従

**offence** 違反, **crime** (法律上の罪) と **sin** (宗教・道徳関係の罪) の両方にまたがる違反をいう。

**patience** 忍耐

**prudence** 控えめ, 用心深いこと

**reminiscence** 思い出

reverence 尊敬

silence 沈黙

transparence 透明さ

turbulence 騒乱, 乱気流

violence 暴力

**-ent** “～状態”を意味する接尾語。

absorbent 吸収剤, 吸収性のある

convergent 点に集まる, 収斂する

different 異なる

divergent 分岐する

emergent 緊急の

existent 生存の

indulgent 寛大な

magnificent 偉大な

obedient 従属的な

permanent 永久の

prudent 慎重な

reminiscent 思い起こさせる

silent 無声の

substituent 置換基

urgent 緊急の

**-er (または -or)** “行為者”を意味する接尾語。**-or**との間違いが, 入学試験・模擬試験等で出題される間となる。

activator 賦活化因子

communicator 伝達者

**conductor** 指揮者

**dancer** ダンサー

**elevator** エレベーター

**helper T cell** ヘルパー T 細胞。細胞性免疫や液性免疫を制御する司令塔の役割をするリンパ球

**killer cell** 免疫のキラー細胞, **natural killer cell** は, いわゆる NK 細胞のこと

**modifier** 変更する

**player** プレイヤー

**writer** 書き手

ドイツ語でも、英語と全く同様に“～人(行為者)”を意味する **-er** がある。NHK ラジオドイツ語講座等で、次の例が挙げられる。ドイツ語なので、名詞はその頭文字は当然大文字でなければならないことを、第二外国語がドイツ語でない学生たちにも教えている。

**Bauer** 農家

**Fischer** Fisch に従事する人, つまり漁師

**Fleischer** Fleisch (英語では **flesh**, 肉) を扱う人, つまり肉屋

**Müller** 粉屋, 粉引き

**Schauspieler** 俳優, 役者

**Schneider** schneiden (切る) をおこなう人, すなわち服などの仕立てる人

**Schuhmacher** Schu (靴) を machen (make, 作る) する人, すなわち靴屋, 靴製作の職人

このドイツ語の **-er** とは全く無関係であるが、ドイツ語圏における地名が形容詞となったその語尾に **-er** が認められる。ドイツ語において、この類の形容詞は一切、格変化をしない。

このような地名のドイツ語形容詞が英語化したときに、**英単語にもそのまま -er が残る。**

**frankfurter** フランクフルトソーセージ

Frankfurter Allgemeine フランクフルト新聞（松山大学図書館で閲覧できる）  
 hamburger （日本語でもそのまま）ハンバーガー，もともとは“ハンブルグの”  
 wiener （もとはWiener）roast, sausage, or wurst ウィンナーソーセージ

**-ery** “総合的な状態，行為”を示す接尾語。eが消えて，**-ry** のこともある。

bribery 賄賂

chemistry 化学，新しい語義“雰囲気”のこともある

delivery 配達。例えば，drug delivery system「薬剤到達システム」

dentistry 歯学

imagery 画像，心象，比喩的な表現

jewelry （総称的に）宝石

machinery 機械

rivalry ライバル

robbery 略奪

slavery 隷属

scenery 風景

**-ese** “所属”の意味合いの接尾語。

Chinese 中国人，中国語

Japanese 日本人，日本語

legalese 法律文書に使われる独特な用語

**-ess** “女性形”を示す接尾語。

actress 女優。もちろん actor の対語

empress 皇后

princess 皇女

**-esque** “～風, 様態が似ている” 意味の接尾語。

**arabesque** アラベスク (模様などで知られている)

**grotesque** グロテスク

**humoresque** ユーモレスク (ドボルザーク作の曲名でもある)

**picturesque** 絵のように美しい

**romanesque** ロマネスク様式

**-ette** “小さくて可愛い意味合い” の接尾語。

**banquet** 饗宴

**cigarette** シガレット

**etikette** エチケット

**marionette** マリオネット

**palette** パレット (よろいのわきの下あて; 小さい意味あり)

**pochette** ポツシエット

**pupette** ピュッペット, 人形

## F

**-fend, -fest** “打つ” に関係した接尾語。

**defend** 弁護する。名詞形は **defense** 弁護。

**offend** 害する。名詞形は **offense** 違反。

**infest** はびこる

**manifest** (手で打って感じられるほど) 明らかな

**-fer** “運ぶ” ことに関係した接尾語。

**confer** 授与する

**defer** 従う

**infer** 意味する

**prefer** 選択する

**refer** 参考にする

**suffer** 苦しむ

**transfer** 乗り換える

**interfere** 干渉する

**-fess** “しゃべる” ことに関係した接尾語。

**confess** 告白する（共にしゃべる意味から）。信者が聖職者にボックス席で打ち明けているのは懺悔かもしれない。con- はよく知られた“共に”の意味である。

**profess** 教授する（学生など大勢の前でしゃべることから）

**-fic** “もたらす” 意味合いのある接尾語。これもよく見かけるが、“～にする、～を起こす、～に化する、～化的な”などの日本語で、およその見当がつく。

**honorific** 敬語表現の

**scientific** 科学的な

**specific** 特別な

**-fid** “信用する” に関係した接尾語。

**confident** 自信のある

**diffident** 自信のない

**infidel** 信仰心のない

**-firm** “確かな” 意味合いを添える接尾語。

**affirm** 確言する

**affirmative** 肯定的な（affirmative action などに見られる）

**confirm** 確認する（ともに確認するが原義）

**infirm** 病弱の（確かでないこと）。この名詞形は **infirmity** 虚弱。

**-fix** “固定する” 意味の接尾語。

**prefix** 接頭語

**suffix** 接尾語

**-flect, -flex** “曲げる” 意味の接頭語。flexibility は「適応性のある」。flex- は flex time など理解が容易であろう。

**circumflex** 曲折する

**inflect** 内側に曲げる, 語形変化する

**reflect** 反映する

**reflexive** 再帰の, 反作用の

**reflexive pronoun** 再帰代名詞

**reflexive verb** 再起動詞

**-flict** “打つ” 意味の接尾語。

**afflict** 向かって打つ, 悩ます

**conflict** 衝突。共に, 互いに (con-) 打つ意味から, 「衝突」となる。

**inflict** 痛手を負わせる

**-fold** “折りたたむ, 重なった” 意味の接尾語。

**fivefold** 5重の, **fivefold pagoda** は五重の塔

**multifold** 多重の

**threefold** 3重の

**-folk** “～の人たち” を意味する接尾語。

**countryfolk** 地方の人々, 同胞

**gentlefolk** 良家の人々

**good-folk** 善良な人々

**-form** “形づくる”意味の接尾語。

**conform** 順応させる

**deform** 変形させる

**inform** 報告する

**perform** 遂行する

**reform** 改革する (re- 再び, 形づくる意味から)

**transform** “超えて形を作る”, すなわち変換させる, 電圧などを**変える**

**uniform** 制服 (統一されている**形**)

**-free** よく知られた“～がない”意味の接尾語。日本語化している。

**barrier-free** いわゆる“バリアフリー”(バリアー**がない**)

**duty-free** 免税の(課税**されない**)

**pollen-free hinoki** (英語の cypress に近い) 花粉を放出しないヒノキ(檜),  
日本で発刊の英字新聞でみかけた表現。

**side-effect-free** 副作用の**ない**

**specific-pathogen-free** 特別な病原体の**ない**(実験用ネズミなど)

**-ful** “一杯の”意味の接尾語。

**beautiful** 美しい

**careful** 注意深い

**fruitful** 実りある

**helpful** 助けとなる

**hopeful** 有望な

**mouthful** 口一杯

**successful** 成功した

**powerful** 力のある

**useful** 有益な

**-fuse, -found** “注入して、作り上げる”意味の接尾語。

**confuse** 混乱する

**confound** 混乱させる

**confuse** 混乱する

**diffuse** 拡散する

**effuse** 発散・放出する，させる。花序が分散した意味もある。

**infuse** 注入する

**refuse** 拒絶する

**transfuse** 輸血する

**-fy** “動詞の結果としての特色”を示す接尾語。

**amplify** 拡大する。**ample** 十分な（これは形容詞）。

**clarify** 明らかにする

**intensify** 強める

**justify** 正当化する

**modify** 修飾する

**purify** 純化する

**simplify** 単純化する

言うまでもなく **simple** 単純な（形容詞），**simplicity** 単純（名詞）もよく

知られている。

**unify** 統一する

## G

**-gamy** “結婚”を意味する接尾語。これを知っていれば、**有性生殖**の段階のマラリア原虫のひとつ **gametocyte** も、実に理解しやすい。

**bigamy** 重婚

**monogamy** 一夫一妻制度

**polygamy** 複婚姻制

**-gate** 比較的新しい接尾語。やや否定的なニュアンスを伴っているかのよ  
うな説もある。

**Irangate** イランの正式名は Islamic Republic of Iran である。

**surrogate mother** 代理母

**watergate** 文字通りには水門

**-gen** “源、元”を意味する接尾語（発音が似ているようではあるが、英語では  
ジェン。ゲンと発音するのは、日本における伝統的なドイツ語教育の残滓。  
（この読み方は、学生には、元来“ざんし”であるが慣用的に“ざんさい”と  
読まれると教えている。教員としては就職試験などで、学生が不利になら  
ないようにと、大変な心配りをする。）

**antigen** 抗原

**carcinogen** 発癌性物質

**endogen** 内側から生ずる、内生の

**estrogen** エストロゲン

**exogen** 外因の

**fibrinogen** フィブリノーゲン

**glycogen** グリコーゲン

**mitogen** 有糸分裂誘発因子

**pathogen** 病原性

**pyrogen** 発熱物質, 発熱因子

**-genesis** “生み出すこと・生成”を示す接尾語。大文字で始まる **Genesis** は創世記。

**carcinogenesis** 発癌

**glycogenesis** 糖新生

**lithogenesis** 結石形成

**neogenesis** 組織の再生・新生

**oncogenesis** 腫瘍発生

**osteogenesis** 骨形成

**-gon** “角形”の意味の接尾語。

**trigon** 三角形

**tetragon** 四角形

**pentagon** アメリカ国防省, 普通名詞では五角形

**decagon** 十角形, **deca-** はよく知られた “10” の意味の接頭語

**-gram** “描くこと”の意味の接尾語。

**aerogram** (air letter) 無線電報

**cardiogram** 心電図

**diagram** ダイアグラム

**histogram** ヒストグラム

**hologram** ホログラム, レーザー写真

**-graph** “～像”の意味の接尾語。

**angiograph** 血液像 (**angio-** は, 医療系分野ではよく知られているように “血液” を意味する接頭語。

**biography** 伝記

**lithograph** 石版画 (lith- (石) に描かれたもの)

**monograph** モノグラフ

**tomograph** X線断層写真撮影装置

## H

**-head** “頭”を意味する接尾語。

**bridgehead** 橋頭堡

**flowerhead** 頭状花序 (植物学)

**letterhead** レターヘッド。これは日本語化されている。

**-headed** “頭脳の機能”に関係した接尾語。

**clear-headed** 頭脳明晰な

**cool-headed** 冷静な

**light-headed** 思慮のない軽薄な

**-here** “粘着する”意味の接尾語。

**adhere** 粘着する。次の関連語も教えておきたい。**adherence** アドヒアランス (最近では、薬学でもよく使われる用語)。**adhesion** 粘着, 附着, 癒着 (病理)。**adhesive** 絆創膏。ad- は“対象に向かって”の意味合いがある接頭語である。

**cohere** 結合する, 固執する (“ともに粘着する”)。名詞は **coherence** 結合, 固執。**cohesion** は凝集 (まさに “ともに粘着すること”)。

**inhere** 生来備わった。形容詞は **inherent**。

**-hood** 何らかの “～状態”を意味する接尾語。

**brotherhood** 兄弟愛, 人類愛

**childhood** 幼年期, 子供時代 (小児期)

**likelihood** 蓋然性 (難しそうな言葉であるが, “ありそうなこと”, 可能性よりは確率が高い)

**neighborhood** 近所

## I

**-ia** “～症, ～病” の意味か, その意味合いを込める接尾語。

**leukemia** 白血病

**xerostomia** 口腔乾燥症

**schizophrenia** 精神分裂症

**melancholia** 鬱状態

**-ian** “関係がある人” の意味の接尾語。

**barbarian** 野蛮人

**comedian** コメディアン

**christian** キリスト教徒

**historian** 歴史家

**Hegelian** ヘーゲル信奉者

**librarian** 図書館員

**magician** 魔術師

**mathematician** 数学者

**musician** 音楽家

**physician** 内科医

**politician** 政治家

**technician** テクニシアン

**vegetarian** ベジタリアン

**-iasis** “病態”を意味する接尾語。

**arthritis** 関節炎 (arthr- 関節の)

**elephantiasis** 象皮病 (バンクロフトフィラリアに感染して現れる症状のひとつ)

**mydriasis** 瞳孔散大, 散瞳

**miasis** ダニ症

**schistosomiasis** 住血吸虫症, この原因虫は *Schistosoma* spp, この頭の s は必ず大文字である (分類の属名であるから)。

**psoriasis** 乾癬

**-ic** 特徴とか状態を示す接尾語で, 形容詞をつくる。

**academic** アカデミックな

**botanic** 植物学の

**dynamic** ダイナミックな

**generic** ジェネリックの

**historic** 歴史上の

**melancholic** 憂鬱な

**organic** 有機の

**periodic** 周期的な

**poetic** 詩的な

**scientific** 科学的な

**sporadic** 散在する

**therapeutic** 治療の

**traumatic** トラウマの

**-ics** “物質”の意味がある接尾語(物体としてでなく, 材料の意味合いが強い)。

**antibiotics** 抗生物質

plastics プラスチック

**-ie** “小さくてかわいい” 意味合いの接尾語。

cookie クッキー（あまり意識しないと思うが、このもとは cook）

doggie bag レストランで食べ残したものを持ち帰るための袋（アメリカでは店が用意してくれる）

movie もちろん「映画」であるが、語義的に、もとの move からとはあまり意識しないであろう。

**-ile** “～の傾向がある” ことを示す接尾語。

agile 機敏性のある

conciliatory なだめるような

docile 率直に従う。教える先生である doc- に率直となる意味合いである。

exile 亡命

fragile もろい

hostile 敵意がある

infantile 子供の

juvenile 幼少の

reconcile 和解する（“再び共になだめる” 意味から）

reptile 爬虫類の, reptiles は爬虫類（名詞形）

smile スマイル

textile 織物（の）

versatile 多分野に通じた, 熟語 versed in ~ も見られる。

volatile 揮発性の

**-in** これは前置詞に由来し、抗議を含意した集団的行為を表すという<sup>5)</sup>

read-in 読み込み, リードイン（文学作品等の引用で社会悪に抗議）

**sit-in** 座り込みの抗議

**teach-in** 大学などで行われる討論集会

**-ine** “～的な” 意味の接尾語。

**alpine** アルプス山脈の

**divine** 神のことわざに, “To err is human, forgive divine.” (過ちを犯すのは人間で, それを許すのは神) が知られている。

**doctrine** 教義

**feminine** 女性の

**margarine** マーガリン

**masculine** 男性的な, masculine gender のように。

**medicine** 医学, 医薬品

**intestine** 腸管

**serpentine** ヘビ

**-ing** もとは“現在進行形”であるが, 状況を表す補語として形容詞化する際の接尾語。

**boring** 退屈な

**fascinating** 魅惑的な

**interesting** 興味ある

**provoking** 惹起する, 引き起こす

**-ish** 名詞を形容詞化する接尾語。

**boyish** ボーイッシュな

**foolish** 愚かな

**Irish** アイリッシュ

**selfish** 自己的な

**yellowish** 黄色がかった

**-ism** よく知られた“状態”とか“主義”を意味する接尾語。これは和製英語化しているが、英米でも全く同じ意味で使用されているのか否か、その点が要注意である。

**academicism** 学究的な傾向。 **academism** をよく耳にする。

**anabolism** 同化

**alcoholism** アルコール中毒・依存症。 **alcohol abuse** が普通。

**catabolism** 異化

**darwinism** ダーウィニズム

**metabolism** 代謝

**nationalism** 国家主義

**regionalism** 地域主義

**protestantism** 新教徒の信仰

**symbolism** 象徴主義

**tourism** tourとしての **-ism**, 観光旅行

**-ist** よく知られているように、“～人”を意味する接尾語。これも日本語化されている。それらは時に“和製英語”であって、意味する内容に、もとの英語とは完全な乖離が生じていることがある。

**anarchist** 無政府主義者。a- は無い, arch- 政府。

**chemist** 薬剤師 (イギリス)

**dentist** 歯科医師

**feminist** 女性に優しい男性の意味合いでは和製英語。英語の本当の意味は女性解放論者 (**femaleist** とも記す)。

**naturalist** ナチュラリスト

**oncologist** 腫瘍学者

**parasitologist** 寄生虫学者

**pharmacist** 一般に薬剤師の英語表現である。イギリス英語では **chemist** を聞く。ドイツ語では薬学者 **Pharmazeut**, 薬剤師 **Apotheker** などの語彙がNHKラジオ講座テキスト『まいにちドイツ語』(2008年10月号)に出てきた。日本語では～師と～士を明確に表記分けしているが, “~**ist**” とか “~**er**” (例えば **player**) に関する英語についてはどうなのか, 今後とも関心を持続させたい。

**physiologist** 生理学者

**terrorist** テロリスト

**therapist** セラピスト

**tourist** 旅行者

**violinist** バイオリニスト

**-ite** “住人” の意味の接尾語。

**Israelite** 古代イスラエル王国国民

**Muscovite** モスクワっ子

**Tokyoite** 東京人

**-ite** “岩石” の意味の接尾語。

**crystallite** 晶子 (ガラス質火山岩の石基や鉍滓中に産する微小な球・数珠玉・毛状などの結晶の胚珠を意味する鉍物理学の専門用語<sup>13)</sup>)

**dendrite** 神経細胞の樹状突起

**dithionite** 亜ジチオン酸塩

**granite** 花崗岩

**hydrosulfite** ハイドロサルファイト

**malachite** マラカイト, 孔雀石

**meteorite** 隕石

**-itis** “炎”を意味する接尾語。臓器などにおける**炎症**を表す接尾語。

**dermatitis** 皮膚炎

**gastritis** 胃炎

**gingivitis** 歯肉炎

**glossitis** 舌炎

**hepatitis** 肝炎

**mastitis** 乳腺炎

**periodontitis** 歯周炎（接頭語 **peri-** には、“周辺”の意味がある）

**poliomyelitis** 急性灰白髄炎（いわゆるポリオ、昔は小児麻痺と呼ばれた）

**stomatitis** 口内炎

**-ity** 形容詞を名詞化する接尾語。

**teratogenicity** 催奇**形性**（形成ではない）

**carcinogenicity** 発癌**性**

**unity** 統一**性**

**utility** 有用**性**

**-ium** 元素・化学物質名、物質名によくみられる接尾語。**用語**、**集まり**の意味合いもある。

**aluminium** アルミニウム

**ammonium** アンモニウム

**calcium** カルシウム

**colloquium** コロキウム

**equilibrium** 平衡、均衡

**gymnasium** 日本語で言う“ジム”

**medium** メディア、溶媒

**opium** 麻薬

**optimum** 至適（複数形は **optima**）。生化学・酵素学では、しばしば **optimal** pH（至適 pH）が出てくる。**opt**（選ぶ）、**optimize**（最適化する）、**option**（選択）など関連語が多数あげられる。

**plutonium** プルトニウム

**potassium** カリウム（**Kalium**）のことであるが、現代の日本で科学分野においてドイツ語が残っている一例。

**radium** ラジウム

**symposium** シンポジウム

**-ive** “属性”を示す接尾語。

**active** 活動的な

**comparative** 比較

**destructive** 破壊

**negative** 否定的

**positive** 肯定的

**productive** 生産的

**relative** 関連ある

**-ize (-ise)** 積極的な方向性と結果を示す他動詞を形成する接尾語。

**americanize** アメリカナイズさせる

**criticize** 批判する

**neutralize** 中性化させる

**memorize** 記憶する

**minimize** 最小化する、最小限にする

**rationalize** 合理化する

**realize** 実現させる

**stabilize** 安定化させる

## J

**-ject** “投げる”意味の接尾語。接頭語との組み合わせにより、様々な動詞を構成している。

**abject** 投げ捨てられた, みすぼらしい

**deject** 接頭語 de- (下へ)があることで, 気分が下へ**投げ**られた ⇒ 気分が落ち込んだ

**ejaculate** 放出する, **投げ**出す e- (外へ) -jacul (**投げる**) さらに -ate, これも似た構成。

**eject** 接頭語 e- (ex-) (外へ) に **-ject (投げる)** が続き, 外へ**投げる** ⇒ **投げ**出す

**inject** 注射する

**interject** 間に入れる。その意味で, **interjection** は間投詞。

**object** 目的, 対象

**project** 企画。前に (pro-) **投げる** のが, **projector**。そのようにしてスクリーンに映し出す機械がプロジェクターとなっている。

**reject** 拒否する

**subject** 主語, “被験者”。受験時代は主語・述語・目的語の「主語」として, 耳に響いていたものであるが, “被験者”の意味もあることを薬学部の学生に教える必要がある。

## K

**-kane** アルカン **alkane** の接尾語。一般化学式は  $C_nH_{2n+2}$  であるが, よく知られているように, 例えば次のようなものがあげられるが, 共通の語尾は **-ane** となっている。

**methane** メタン

**ethane** エタン

**propane** プロパン

**-kene** アルケン **alkene** の接尾語。一般化学式  $C_nH_{2n}$  次の例では、共通の語尾は **-ene** となっている。

**ethylene** エチレン

**propylene** プロピレン

**-kyne** アルキン **alkyne** の接尾語。一般化学式  $C_nH_{2n-2}$

**ethyne** (acetylene) アセチレン

**-kin** “小さいもの” を意味する接尾語。元々は、親しみがこめられた表現であつたらしい。

**lambkin** 子羊

**manikin** マネキン

**napkin** ナプキン

**pumpkin** カボチャ。そういうカボチャの種子には駆虫作用のあることが昔から言われてきた。今ではブラジカンテルなどの優れた抗寄生虫薬が開発されているので、現代の医学、薬学の教科書における駆虫薬の項には、この記載がない。ネット検索では容易に出てくる。

人名 **Jenkins** や **Watkins** も、もともと親しみをこめてのことらしいが、更なる検討に興味と関心を覚える。

**-ko** 日本人女子にもともと多い名前の語尾 “**～子**”。今では、国際的に知られるようになった。例示は不要であろうが、海外で評価の高い小説関連で女性名をあげておく(これらの名は本論文の筆頭著者牧 純の大学受験時代、「現代国語」の試験等で、「書かせる」問題に出るとされたものである。実際、模擬試験に出題され、“駒子”と書けなくて、点数をもらえなかった苦々しい思い出がある。下記の真知子も葉子も、それを機に、しっかりと記憶しておいたが、結局は出題されなかった)。

**Komako** 川端康成著『雪国』に登場の女性, 駒子

**Machiko** 野上弥生子著『真知子』

**Yoko** 有島武郎著『或る女』の主人公葉子

## L

**-lect** “選ぶ” ことと関係のある接尾語。

**collect** “集める” の意味であるが, 何らかの選別を伴っている。

**dialect** 方言 (ある言語集団についての中立的表現)

**elect** 選挙, 選び出す

**idiolect** 個人言語

**intellect** 間で選別する, 知性

**neglect** 否定的に選ぶ, 無視する

**select** 選別する

**-less** “無い” 意味の接尾語。日本語化されているが, 日本国内でしか通用しない和製英語が跋扈しないか, 実に不安である。

**careless** 不注意の

**endless** 果てしない

**harmless** 害のない

**homeless** ホームレス。日本語化しているが, 日本における意味合いと同じであるかは不明である。

**-let** “小さい” 意味の接尾語 (縮小辞)。

**booklet** 小冊子

**Hamlet** Shakespeare の作品『ハムレット』で有名であるが, 文字通りの意味は小村。

**islet** 小さな島

lakelet 小湖

pamphlet 日本語のいわゆるパンフレットとは異なる。英語の pamphlet は、政治のプロパガンダに使うことを目的としたもの。

piglet 小豚

platelet 血小板（文字通りには“小さな板”）

omelet オムレツ

triple 三つ子，DNA および RNA における塩基の3つ組。

**-like** “似ている” という意味の接尾語，または接頭語的な接辞。ハイフンが付されている場合と，そうでない場合とがある。

businesslike 効率的な事務処理をこなす。日本語の冷たいニュアンスはない。

childlike 子供らしい（childish は子供っぽい意味）

killer cell immunoglobulin-like receptor (KIR) キラー細胞免疫グロブリン様受容体；直訳でこのように長いので，KIR という略語が使われる。

leukocyte immunoglobulin-like receptor (LILR) 白血球免疫グロブリン様受容体；やはり直訳では長いので，LILR が用いられる。

morphine-like (morphinelike) モルヒネ様の

protean-like 変幻きわまりない（Protean の様な）

toll-like receptor (TLR) Toll 様受容体（侵入する病原体を認識して自然免疫を作動させる）

**-ling** “小さくて，かわいいもの” を示す接尾語。

darling お気に入りの人

fondling 愛玩の対象となる人，動物

nestling ひな鳥（またはそのような乳幼児）

**-lith** “石”の意味の接尾語。

aerolith (= aerolite) 石質隕石

gastrolith 胃石

megalith 巨石

odontolith 歯石

ureterolith 尿管結石

**-logue** “言葉”と関係のある接尾語。

analogue 類似性

catalogue 目録

dialogue 対話

monologue 独り (mono) が語る類のもの

travelogue 旅行記

**-logy** “学問”を意味する接尾語。これはわかりやすい。俗語的には、日本語化されている。英語と違っていても、和製英語が混ざっていることもあるので気をつけたい。次の例は、学系・科学系を中心に示す。

angiology 脈管学

biology 生物学

ecology 生態学

gastrology 胃病学

genecology 婦人科学。薬学生も obstetrics 産科学と区別して認識しておくことが必要である。

hysterology 子宮学

lithology 岩石学

oncology 腫瘍学

osteology 骨学

**physiology** 生理学

**technology** テクノロジー

**urology** 泌尿器科学

**zoology** 動物学。しかし植物学は botany。これらの語尾の違いはなぜなのか、今後検討したい。

**-lud** “演ずる” 意味の接尾語。

**allude** それとなく、ほのめかす

**elude** 回避する

**prelude** 序幕を演ずる

**-ly** 副詞形成の接尾語，時に**形容詞化**もある。これは，なぜなのか，調べる価値がある。

**kindly** 親切な意味合いの**副詞**

**friendly** 友好的な意味の**形容詞**

**weekly** 週ごとの，次の2単語とともに形容詞である。

**monthly** 月の（毎月の）

**yearly** 年の，年報などでは annual report。

**-lysis, -lyte** “溶解，解けること，溶かすこと” の意味の接尾語。これは，薬学系ではよく知られている。

**electrolyte** 電解質

**endolysis** エンドライシス（細胞などの内側での溶解，薬剤開発の候補として注目されることがある）

**glycolysis** 解糖

**proteolysis** 蛋白質分解

**hemolysis** 溶血

## M

**-made** “造られた”意味の接尾語。ハイフンは入れたり入れなかったり、両方を見かける。

**handmade** 手作りの

**home-made** 家庭でこしらえた

**manmade** 人造の

**readymade** 出来合いの

**tailor-made** テイラーメイド。この医薬品が当たり前となる時代が到来すると予測される。

**-malacia** “軟らかくなること”の意味合いの接尾語。**malacoma** は病的軟化部。

**cerebromalacia** 脳軟化症

**chondromalacia** 軟骨軟化症

**-man** “人”を意味する接尾語。

**cameraman** カメラマン

**chairman** 座長。むしろ、日本語では問題がない。しかし、この役割は男性のみに限定されたものではないので、最近では **chairperson** ということが多い。

**clergyman** 聖職者

**fireman** 男性消防士。**fire fighter** ともいう。

**fisherman** 漁師

**freshman** 新入生

**guardman** ガードマン

**policeman** (文字通りは) 男警察官

**salaryman** これは和製英語といわれてきた。しかし、“日本式の給与生活者”の意味がないわけではなく、アメリカで使われることがあると聞く。もちろん、本来の英語は **salaried man (person)** である。

**-mand** “命令する” 意味の接尾語。

**command** 指図する

**demand** 要求する

**remand** 返還する, 差し戻す, 送還する

**-mate** “仲間” の意味の接尾語。かなり日本語化されている。

**classmate** 級友

**roommate** 同室の仲間

**schoolmate** 学友

**teammate** チーム仲間

**-megaly** “病的に大きくなること” の意味で使われる接尾語。

**acromegaly** 先端巨大症

**splenomegaly** 脾臓がはれること, 脾腫 (マラリアの3大徴候のひとつ, 他には貧血, 高熱)。

**-mend** “ゆだねる” 意味合いの接尾語。

**amend** 改める。a- は “～から離れる”, -mend は “誤り” の意味である。

**commend** 任せる

**recommend** 推薦する

**-ment** “行い” を示す接尾語。

**achievement** 完成

**agreement** 同意

**argument** 討論

**assignment** 割り当て, 任命

**appointment** 約束

apartment アパート  
 development 展開  
 replacement 置き換え

**-meter** “測定の計器”を意味する、あまりによく知られた接尾語。

barometer バロメーター；これは日本語にもなっている。  
 biometer 生体計測器，生体から放出される二酸化炭素などの測定器  
 calorimeter 熱量計  
 manometer 液柱計，血圧計  
 spectrometer 分光計  
 speedmeter スピードメーター，速度計

**-metry** **-meter**の複合派生で，これも“測定”の意味合いのある接尾語<sup>5)</sup>

geometry 幾何学  
 photometry 光度測定法  
 symmetry 対称（左右測定し同じもの）。接頭語の sym- は同じ意味。

**-minded** “気持ち・関心が～の方向に傾いている”意味合いの接尾語。

absent-minded ぼんやりした，うわの空の  
 internationally-minded 国際的な感覚のある  
 openminded 心の開かれた  
 peaceminded 平和希求の

**-monger** “あまりよくない取引”を意味する接尾語<sup>6)</sup>

fishmonger “魚売り”が原義だが，転じて悪いニュアンスで用いる  
 gossipmonger 噂話を好む人  
 rumormonger 噂を広める人

**-most** 文字通り“最も”を示す接尾語。

**foremost** 真っ先に

**innermost** 最も内側の

**uppermost** 一番上の

**-myces** “菌類”を意味する接尾語。これは次に示す学名などにみられる。

*Actinomyces* アクチノマイセス属菌

*Saccharomyces cerevisiae* パン酵母の学名

*Streptomyces* ストレプトマイセス属菌（ストレプトマイシンの名の由来）

## N

**-naut** “船乗り”の意味の接尾語

**astronaut** アメリカ系の宇宙飛行士

**cosmonaut** ソ連系の宇宙飛行士

**oceanaut** 潜水技術者

**-ness** 記すまでもなく、形容詞を名詞にする典型的な接尾語というか、語尾である。よく知られているので、3例のみ挙げる。

**illness** 病気

**kindness** 親切

**poorness** 貧弱, 乏しさ。これらの訳語が、一応辞書には載っているが、**poverty**の方がはるかに一般的な名詞である。

**-nounce** “報じる”意味の接尾語。

**announce** アナウンスする

**denounce** 告発非難する

**pronounce** 発声する

**renounce** 放棄する

## O

**-oid** “類似の・似たもの”を意味する接尾語。Celluloid は商品名。

**alkaloid** アルカロイド。これは薬学であまりにもよく耳にする。

**angioid** 血管様の

**asteroid** 星状, 小さい惑星

**cysticeroid** 擬囊尾虫。cysticercus 囊尾虫に類似した条虫の幼虫。

**hysteroid** ヒステリー様の

**mastoid** 乳様の

**myeloid** 脊髄性の

**opioid** オピオイド (アヘン様という意味であり, 麻薬性鎮痛薬や関連合成鎮痛薬などのアルカロイドあるいは内因性モルヒネ様ペプチドの総称)

**planetoid** 小惑星

**steroid** ステロイド

**tabloid** タブロイド。現在, 商品で普及しているのでわかりやすい。

**rheumatoid** リューマチ様の

**-ol** 薬学, 化学で用いられる“物質”名の接尾語。アルコール類を中心に, よくみられる。

**bithionol** ビチオノール, 吸虫の駆虫剤

**ethanol** エタノール

**methanol** メタノール

**-oma** “腫瘍”の意味の接尾語。

**glioma** グリオーマ (神経膠腫)

**tracoma** トラコーマ

**sarcoma** ザルコーマ

**-on** “イオン”の意味の接尾語。

**argon** アルゴン

**boron** ホウ素

**carbon** 炭素

**electron** 電子

**neutron** 中性子

**nylon** ナイロン

**proton** 陽子

**radon** ラドン

**xenon** キセノン

**-onym** “語”の意味の接尾語。

**acronym** 頭字語

**antonym** 反対語

**synonym** 同義語

**cryptonym** 匿名

**-oon** “大きい”意味合いを添える接尾語<sup>5)</sup>

**balloon** バルーン (大きな風船がもともとの意味)

**cartoon** 漫画 (大きな紙に描いたことから)

**pantaloon** Pantalone, 西暦 305 年に殉職した守護神からきたといわれる。

**saloon** サロン

**-ory** “属性”を示す接尾語。

**compulsory** 強制の

**obligatory** 義務のある

**sensory** 感覚的な

**-osis** “病態”の意味の接尾語。

**apoptosis** アポトーシス（二番目の p は無声音）。「枯死」とも訳されるが、細胞の病的な死ではない細胞死；細胞内小器官の構造は保たれながら DNA が凝集・断片化する<sup>1)</sup>

**arthrosis** 関節症

**athetosis** アセトシス。病理学用語で、脳障害により手足や舌などが不随意に律動的な痙攣をする疾患<sup>3)</sup>

**cirrosis** 肝硬変

**fibrosis** 繊維

**leukosis** 鳥類の白血病

**narcosis** 無意識状態

**necrosis** 壊死

**neurosis** ノイローゼ

**schistosomiasis** 住血吸虫症

**symbiosis** 共生

**-ous** 名詞を形容詞化する接尾語。“形容詞的な特徴”を示すことになる。

**anxious** しきりに希望する

**courageous** 勇気ある

**generous** 寛大な

**intravenous** 静脈内の

**nervous** 神経質な

**poisonous** 毒性のある

**religious** 宗教の

spontaneous 自発的な

## P

**-pathy** “病, 情”を意味する接尾語。

**apathy** 無感動

**antipathy** 反感, 違和感

**sympathy** 同情

**telepathy** テレパシー, 精神感応(術)。tele- はもちろん“遠隔”の意味の接頭語。

**-pel** “駆動させる”意味の接尾語。

**compel** 強制する

**expel** 追い払う。expellant 駆虫薬, 虫下し。

**impel** 推進する。impellent 推進させる, 推進力。impulse 衝動にも注目すべきである。

**propel** 前に進む。propeller プロペラは, 幼児の時から知っている語であるが, 英語のスプリングで意味合いとなると, だいぶ後の知識であろう。

**repel** 追い払う, 駆除する。repellent 跳ね返す意味から, 防虫剤。

**-penia** “減少症”を意味する接尾語。

**fibrinogenpenia** フィブリンノーゲン減少症

**leukopenia** 白血球減少症

**thrombocytopenia** 血小板減少症

**-person** “～人”の意味の接尾語

**businessperson** ビジネスマンの男女平等形

**chairperson** 座長

**clergyperson** 聖職者

**congressperson** 国会議員。国会の議員のことを **lawmaker** ということがあるが、これからも国会に立法機能のあることがよくわかる。

**salesperson** 販売員

**-phagia** “食”の意味の接尾語。**phagocyte**（食細胞）は接頭語の例となる。

**autophagia** 自己消耗, 自食

**odynophagia** 嚙下痛, 接頭語 **odyno-** はここでも“痛み”の意味である（前出）。

**-phil (e)** “好む”意味の接尾語。接頭語で用いられた例では, **philharmony** 音楽の同好・愛好の会。

**acidophil (acidophile)** 酸性色素に染まりやすい。

**basophil** 好塩基球（白血球の1種）。関連語に **basophilia**（好塩基性）, **basophilic**（好塩基性の）がある。

**bibliophile** 愛書家

**chlorophile** 葉緑素

**eosinophil** 好酸球（白血球の1種）

**halophile** 好塩菌

**neutrophil** 好中球の（白血球の1種）

**Japanophile** 親日家

（学名にみる **-phil** の項目と関連の接尾語）

**-philus (-a, -um)** “好む”を意味する接尾語

*Haemophilus* ヘモフィルス属菌（細菌名）

*Legionella pneumophila* レジオネラ・ニューモフィラ（細菌名）

*Mycobacterium haemophilum* マイコバクテリウム・ヘモフィラム（細菌名）

**-phobe (-phobia)** “恐怖”を意味する接尾語。

acrophobe 高度恐怖症の人

aerophobe 飛行機嫌いの人

bacteriophobe 細菌恐怖症の人。bacteriophobia 細菌恐怖症

cancerphobe 癌恐怖症の人

computerphobe コンピューター恐怖症の人

homophobia 同性愛への偏見や嫌悪感

hydrophobe 恐水症の人

xenophobe 外国人嫌い

**-phone** “音・声”を意味する接尾語。耳に馴染んでいる外来語も多い。

earphone イヤホン

headphone ヘッドホン

megaphone メガホン

saxophone サクソフォン (Sax が発明した楽器, サクソホンの表記は普通でない。なぜ時に～ホンで、またある時には～フォンなのか、整理すべきであろう。単に、慣用でそうなっているのかもしれない)

telephone 電話

xylophone 木琴

**-piece** “ひとまとまりの、かたまつたようなもの”を意味する接尾語である。

a piece of chalk のように、**piece**にはそのような意味合いがある。

greenpiece グリーンピース

hairpiece ヘアピース

mantelpiece 暖炉の前面側面の飾り

masterpiece 傑作

mouthpiece 楽器などで口に当てる部分、電話の送話口、代弁者。

**-plasia, -plasy** “形を成してゆく” 意味の接尾語。

**arthodysplasia** 関節異形成

**homoplasy** 同組織移植術, 成因的相同

**hypoplasia** 発育不全。hypo- は“低い” 意味の接頭語。

**-ply** “重ねる” 意味の接尾語。

**apply** 上に重ねる

**imply** 内に重ねる

**multiply** 掛け合わせる (掛け算する), 増やす, 掛ける (算数の掛け算)  $2 \times 3 = 6$  の英語発音が新入生にきちんとできるであろうか。Two multiplied by three is (equals) six.

**reply** 重ね返す

**-plegia** “麻痺” の意味の接尾語。

**blepharoplegia** 上眼瞼麻痺

**cardioplegia** 心臓麻痺

**hemiplegia** 片麻痺 (接頭語 hemi- は半分)

**-pnea (-pnoea)** “呼吸” の意味の接尾語。

**hyperpnea** 呼吸亢進

**hypopnea** 呼吸低下

**-poiesis** “増殖” の意味の接尾語。

**hematopoiesis** 血液生成, 造血

**-proof** “保障・抵抗性” のある接尾語。

**bullet-proof** 防弾性の

**fireproof** 防火性の

**rainproof** 雨水に耐える

**waterproof** 防水性の

**-ptosis** “下垂”の意味の接尾語。

**blepharoptosis** 上眼瞼下垂

**gastroptosis** 胃下垂

**-pute** “考える”意味の接尾語。

**amputate** 切り離す，切断する。

**compute** 数を一緒にして考える。

**depute** 任命する。de- ははっきりの意味の強め，慎重に考えることから。

**dispute** 討論する。dis- は打ち消し，反対の考え方をする

**repute** 繰り返し考える，評する。

## Q

**-que** “～様態”を表す接尾語。

**unique** ユニーク。但し日本語のそれとは意味にずれがある。これをしっかりと銘記しておきたい。uni- は勿論“1つ”の意味の接頭語であるから，英語のユニークは唯一無比に近い。

**picturesque** 絵のように美しい

**opaque** 不透明な

**-quire** “求める”意味の接尾語。次に掲げる接頭語と合体して，いろいろな意味が出てくる。スペイン語（原形 *querr*）の *quire* と似ている。

**acquire** 獲得する

**inquire** 尋問する

**require** 要求する

## R

**-resistant** 抵抗性よりは、“保護”，ないしは“～から守られている”意味合いが強い。

**fire-resistant** 耐火性の

**heat-resistant** 耐熱性の

**methicillin-resistant** *Staphylococcus aureus* (略してMRSA) メチシリン抵抗性黄色ブドウ球菌

**-rhage, -rhea** “かなりの量の流出”を意味する接尾語である。後者 **-rhea** の例は多いが，前者 **-rhage** の例は少ない。そのひとつを下にあげておく。**-rhea** も“流れ出ること”と関係した接尾語であるが，接頭語としての例に，**rheology** (流動学) がある。

**hemorrhage** 出血 (血液がにじむ程度ではない，かなりのもの)

**diarrhea** 下痢

**gonorrhea** 淋病

**leucorrhea** 白帯下

**pyorrhea** 膿漏，歯槽膿漏

**-ry** そういう“場所”であることを示す接尾語。

**dispensary** 調剤室，病院のなかの薬局

**dormitory** 寄宿舍。dorm- は眠る意味

**infirmary** 病院，貧民収容所

**laboratory** 実験室

**ministry** 政府組織の省

## S

-s “複数”のsも一種の接尾語である。これは例を挙げるまでもない。むしろsが付かない複数形に関心が及ぶ。単複同形の *sheep* や *fish* は群れを成しているからであろうか？

-s 以外の語尾で決まる単数・複数の例に *~a*・*~ae* もある。

*larva* (複数形 *larvae*) 幼虫

英単語では、その他次のような単複もある。

*datum* (複数形 *data*) データ

*spectrum* (複数形 *spectra*) スペクトラム (またはスペクトラ)

-s “副詞形成”の語尾、一応接尾語として扱った。*perhaps* の-sもこれに該当する。*percent* のように *per* のあとには単数形が続くはずなのに、*perhaps* には-sが付いている。この-sは複数形の-sではない。副詞形成の-sである。ドイツ語の2格 *genitiv* (*genitive*) の-sに相当するものである。

*eines Tages* は“ある日のこと”という副詞的な表現である。

*sometimes* = *some of the time*, *sundays* のsも複数形のsでなくて、副詞のsと解釈される(仮説)。

*always* いつも

*indoors* 屋内の

*outdoors* 屋外の

*needs* (副詞で) どうしても

*nights* (= *of a night*) よく夜に

*unawares* 不意に

次のように **-ce** も副詞形成の **-s** に相当するという<sup>9)</sup>

**once** 一度, かつて

**hence** 故に, 従って

**since** 以来

**whence** どこから

**-scape** “地方”の意味の接尾語。

**landscape** 一目で見渡せる陸地の風景, 風景画 (もとはオランダ語)。

**seascape** 海の風景画

**-scribe** “記す”意味の接尾語。

**describe** 記述する

**inscribe** (石, 金属などに) 刻みつける

**subscribe** 購読する

**prescribe** 処方する。“予め (pre-) 記す”という意味が, その語源である。

**-scope** 視光学器械によく出てくる“～鏡”を意味する接尾語<sup>9)</sup>それらを用いた手段であれば **-scopy** という。

**chromoscope** 色素測定機器

**cinemascope** シネマスコープ (商標) 映画のワイドスクリーン方式の1種

**endoscope** 内視鏡

**gyroscope** 回転儀, ジャイロスコープ

**laryngoscope** 喉頭鏡

**microscope** 顕微鏡

**snooperscope** (軍事携帯用の) 暗視鏡

**spectroscope** 分光器

**stethoscope** 聴診器

## telescope 望遠鏡

**-ship** “属性，制度，精神，気質”を意味する接尾語。ただちに思い浮かぶ単語のひとつに **skinship** スキンシップがあるが，これまで調べた限り，英和辞典に出てこない。和製英語であろうか？ 今後とも調べてゆきたい。

**apprenticeship** 見習い（その期間，身分など）

**clerkship** 事務員，聖職の身分，医学生の病院実習

**friendship** 友情

**partnership** パートナーシップ。TPP の 2 つめの（最後の）P

**penmanship** 正式の書法

**relationship** 関係

**scholarship** スカラーシップ，入学試験では関心事

**seamanship** 船舶の操縦技術

**trusteeship** 国連による信託統治の地域，または島嶼。

**statesmanship** 声明

**vicarship** 教会区司祭職

**-side** “サイド・側”の意味の接尾語。

**chairside** （歯科診察室の）患者の椅子の横

**offside** サッカーのオフサイド，車などの右側

**onside** サッカーなどで正しい位置の

**nearside** 車などが左側の

**outside** 外側

**inside** 内側

**poolside** プールサイド

**roadside** 路傍

**-sis, -ses** (複数形) “**症状, 状態**” を示す接尾語。

**analysis** (複数形: **analyses**) 解析

**diagnosis** (複数形: **diagnoses**) 診断

**mitosis** 有糸分裂

**parasitosis, parasitoses** 寄生虫症

**sclerosis** 硬化症

**symbiosis** 共生

**zoonosis** (複数形: **zoonoses**) 人畜共通症

**-some** どちらかというとよくないというか、望ましくない状況・特徴をまとめて表す形容詞をつくる接尾語。ややぼやけた語感がある。この系統の語には若干古い響きの傾向がある。

**bothersome** うるさい

**lonesome** さびしい

**tiresome** 退屈な

**troublesome** やっかいな

**-some** 直上とまったく同じ綴りであるが、名詞をなす“**袋, 体**”の意味もある。こちらの方は生物学の専門用語でよく見かける。

**chromosome** 染色体

**eurysome** ずんぐりした体つきの

**leptosome** 痩せ型の

**lysosome** ライソソーム

**microsome** ミクロソーム

**monosome** 一染色体

**proteosome** プロテオソーム

**-son** もともと“息子”の意味の接尾語。北欧系の人名についていることが多いが、今ではコスモポリタンな分布が見られる。

**Anderson** デンマークの童話作家。アンデルセンはデンマーク人であるが、その名は英名なら **Anderson** に相当する。

**Nicolson** 音楽家 **Mendelssohn**。メンデルの法則で有名な **Mendel** もドイツ語圏（オーストリア圏）の人であった。

**Johnson** 元アメリカ大統領等の人名、もともとは **John** の息子の意味合い。

**-sphere** “球体”を示す接尾語。

**astroshere** 星状体 (aster) の中心体 (centrosome) 以外の部分

**biosphere** 生物圏

**hemisphere** 半球

**hydrosphere** 水圏

**lithosphere** 岩石圏

**oncosphere** オンコスフェア。擬葉類条虫（サナダムシの仲間）のある段階の幼虫で、確かに球状を呈する。寄生虫学の専門用語。

**-stasis** “停滞・鬱滞・安定”を意味する接尾語。

**homeostasis** 恒常性

**metastasis** 癌などの転移

**-ster** “仲間、一味”の意味の接尾語。

**gangster** ギャングの一員，暴力団員

**spinster** 未婚女性

**youngster** 若者

**oldster** 年配者

**-stomy** “開口部増設”を意味する接尾語。

**enterostomy** 腸瘻管（ちょうろうかん）の形成術，排泄や栄養補給を目的として，腹壁を通して腸管に達する穴を形成する外科手術。

**gastrostomy** 胃造瘻術

**ileostomy** 回腸瘻管（かいちょうろうかん）の形成術。

**-style** ～スタイル。日本語化されている。

**hairstyle** ヘアスタイル

**lifestyle** ライフスタイル

**Victorian-style** ビクトリア式の

**-sume** “取る”意味の接尾語。

**assume** 見なす

**consume** 消費する

**presume** （pre-は“あらかじめ”）推測する

## T

**-tain** 保つ，スペイン語 tener の“持っている”の意味合いがある。

**abstain** 断つ

**contain** 内に含む

**detain** 抑留する。de-は隔離を意味する。

**entertain** もてなす（enter-は“内に”の意味）

**maintain** 維持する

**sustain** 支える

**obtain** 手に入れる

**retain** 留保する。retained object（英文法における遡及目的語；例えば He is easy to treat. の he は treat の遡及目的語である）

**-th** 形容詞を抽象名詞化する接尾語。

**truth** 真実

**width** 幅

**length** 長さ

**-tic** 様態を示す接尾語。

**analytic** 分析上の

**exotic** エキゾチック

**genetic** 遺伝の

**kinetic** 運動性の（物理学，生化学の専門用語）

**therapeutic** 治療の

**-thermal** “温”の意味の接尾語。

**geothermal** 地熱の

**homeothermal animal** 恒温動物

**poikilothermal animal** 変温動物

**-tion** 動詞を名詞化する接尾語。

**abortion** 墮胎

**action** 行為

**completion** 完成

**depletion** 涸渇

**extinction** 絶滅

**function** 機能

**junction** 接続

**menstruation** 月経

**pollution** 汚染。これのものと動詞 **pollute** が名詞化されたものであること

は、学生全員が知っているはずである。

**station** 駅

**-to-be** これからの状態・様子を示す接尾語。

**graduate-to-be** 卒業見込みのもの

**mother-to-be** 近々母親になる人

**wife-to-be** 許婚 (いいなづけ)

**-tome, -tomy** “切開”を意味する接尾語。接頭語としてなら、例えば **tomograph** (X線断層写真)に見られる。

**anatomy** 解剖

**mastectomy** 胸部除去術

**microtome** ミクロトーム

**-trophy** “栄養”と関係する接尾語。

**eutrophy** 富栄養状態, 栄養良好

**hypertrophy** 異常肥大

**-tude** 定性的・定量的性格のグレードを示す接尾語。

**altitude** 高度

**attitude** 態度

**lassitude** 倦怠感

**magnitude** マグニチュード

**-ty** そういう性質を示す接尾語。

**ability** 能力

**difficulty** 困難

utility 有用性

variety 変化, 差

**-type** “型”を示す接尾語。

prototype 原型 (生物学用語)

stereotype ステレオタイプ

Western-type 西側のタイプ

## U

**-ure** 行為の“過程”を表す接尾語。

failure 失敗

picture 絵画

pleasure 喜び

pressure 圧をかけること

procedure 方法・手順

“前に進む”意味の動詞の *procede* + その語尾に **-ure** が付加している。

rapture 破裂

venture 冒険を伴う企業。日本語にもなっている。adventure の *ad-* が取れて出来た語

**-uria** “尿”を意味する接尾語。

albuminuria 蛋白尿

chyluria 乳び尿；バンクロフト糸状虫感染で見られる主要な症状のひとつ  
(他に象皮膚病, 陰嚢水腫<sup>9)</sup>)

glycosuria 糖尿

## V

**-vade** “行く”意味の接尾語。

**evade** (外へ) 逃げる

**invade** 侵入する

**pervade** 普及する

**-volve** “回転させる”意味の接尾語。接頭語では **volume** (巻) が代表例である。

**convolve** 渦巻状に巻く

**devolve** 下に回る, すなわち転がる

**evolve** 外へ転がり出る, 展開する

**involve** 関与する

**revolve** 回転する・させる, 思いをめぐらす。 **revolver** は回転するもの, 回転式連発拳銃。

**-vorous** (形容詞語尾), **-vore** (名詞語尾) “～を食餌とする”意味の接尾語。

**carnivorous** 肉食性の, 名詞形は **carnivore**

**herbivorous** 草食性の

**sanguivorous** 吸血性の。出来れば学生に覚えてもらいたいのは, **sanguivorous parasite** 吸血性の寄生虫 (例えば, 鉤虫や住血吸虫) である。

## W

**-ward(s)** “～の向きへ”を示す接尾語 (物理学的には, 方向とはプラスとマイナスの向きの両方を含む)

**afterward** その後

**forward** 前へ

**inward** 内側に

**onward** 前方へ進んで

**towards** ~の方へ, 頃; 熟語表現に **towards evening** (夕刻) があることを, 新入生も是非知っておいてもらいたい。

**-ware** “~製品”を示す接尾語。

**chinaware** 陶磁器, ちなみに **japan** (Japan ではない) には “漆 (ウルシ)” の意味がある。

**glassware** ガラス製品

**hardware** ハードウェア

**silverware** 銀製品

**software** ソフトウェア

**-ways** “移動”の向きに関した接尾語。

**always** いつも

**anyway(s)** ともかく

**crossways** 交叉するように (副詞)。名詞の **crossroad** は十字路。

**-wide** “広さ”を示す接尾語。

**countrywide** 全国的な

**nationwide** 全国の

**worldwide** 世界的な

**-wise** “方法・方式・方向”を示す副詞の尾語に見られる接尾語。

**clock-wise** 時計回りに

**crosswise** よこなぐりの

**likewise** 同様に

**otherwise** そうでなければ, 仮定法の条件でよく使われる

**stepwise** 段階的に。生化学, カラムクロマトグラフィー

**-woman** “女性”を示す接尾語。

**businesswoman** ビジネスマンの女性形

**policewoman** 婦人警官

**sportswoman** **sportsman**がもし男性に偏っている表現なら **sportsperson**が適切な表記となるのであろうか。おそらく慣行との兼ね合いで決まる、少なくとも当座は流動的なものと思う。

**-work** “はたらき, 仕事, 機能のある”ことを示す接尾語。

**fieldwork** フィールドワーク

**footwork** 足さばき, 困難なことに対する適切な処置

**lifework** 生涯かけての仕事, 日本語化されている

**teamwork** チームワーク, 日本語化されている

**-worthy** “値する”意味の接尾語であるが, 単語 **worthwhile**では, 接頭語となっている。

**airworthy** 航空に適した

**noteworthy** 注目に値する

**trustworthy** 信頼するに足る, 信用できる。He is a man of **trustworthy** character. a man of character は人格者

## X

**-xenus** “客の, 外来性の”という意味の接尾語。

未だ感染していない昆虫をヒト患者の皮膚表面に当てて, 吸血させることでその昆虫体内に問題としている寄生原虫が存在すれば, そのヒトは感染を受けていると判断する診断方法がある。この方法を **xeno-diagnosis** 媒

介体診断法（体外診断法）<sup>9)</sup> といい、中南米において伝統的に行われてきた（現在では、倫理的問題があるとされる）。

更に具体的には、飼育した無感染の昆虫サシガメに、疑わしい患者の血液を吸わせ、2週間後にそのサシガメを殺して腸管内で増殖した原虫（専門的ではあるがトリパノソーマ原虫）を検査する方法をとる<sup>9)</sup>。

この例にみられるように、**xeno-**は“外来”の意味である。その他の例に、**xenobiotic**（外因性化学物質，生体異物）がある。**xeno-**の形容詞的な語尾が**-xenous**であり，“寄生”の意味合いがにじんでくる。

**euryxenous** 多宿主性の（ある寄生虫が様々な宿主に寄生する意味）。例えば、旋毛虫は様々な哺乳類の筋肉に寄生する。**eury-**は“広い”意味の接頭語。

**stenoxenous** 少宿主性の（ある寄生虫がごく限られた宿主に寄生する意味）。例えば、蟯虫（ギョウチュウ）はほとんど人のみに寄生する。ネズミに寄生するギョウチュウはまったく別の種である。**steno-**は“狭い”意味の接頭語。

**-xylon** “木”の意味の接尾語。

**hematoxylon** logwood（ログウッド，またはアカミノキ，これはマメ科の常緑小高木で染料を採るために栽培されている）から採るのでこのような接尾語がついている。ヘマトキシリンエオジン染色 **hematoxylin** (**hematoxylin**)  
**eosin** 染色は病理学で大切な染色方法である。

## Y

**-y** “特徴・属性”を示す接頭語。“～に似て”<sup>4)</sup> という意味合いがある。または“～ちゃん”。

**angry** 怒った

**creamy** クリーム状の，ためになる

doggy ワンちゃん, doggy (doggie が正しい綴りらしい) bag は持ち帰りの袋

earthy 世俗的な

fuzzy ファジー (日本語となっている)

hippy ヒッピー

honesty 正直 (名詞), 形容詞はもちろん honest

mummy お母ちゃん

piggy ブタちゃん

pinky 小指

yuppy (young urban professionals) 1950年プラスマイナス5年前後の都会的若手の上層階級, 頭文字を連ねて造語したいわゆる頭字語の1種。

watery 水のような

## Z

**-zoic** “動物の生命活動やその様式”に関する接尾語。もちろん動物 zoo に関係が深いが, 植物誌もごく普通に含まれる。動物の生存環境としての植物群を考えれば, それも自然なことと思われる。

**cenozoic** 新生代

**cytozoic** (細胞内寄生性) 細胞内に寄生の原生動物

**enzoic** “動物の間で感染症などが流行している”意味である

**mesozoic** 中生代

**palaeozoic** 古生代

## 付 記

以下に述べるのは, かなり専門的となるので, その他の参考としての記載にとどめるが, 日進月歩の科学の分野では, 矢継ぎ早に**接尾語**等が誕生する事実

とその背景に、驚嘆せざるを得ない。その道の専門家ならともかく、分野がずれると捕捉するのに一苦労する。

がんを克服するためには、原因分子の同定に加えて、その分子シグナルを阻害する分子標的治療薬の開発が不可欠である。単一あるいは複数の標的を選択的に阻害する分子標的治療薬が抗がん剤治療薬として承認され、今やクラシカルな殺細胞性薬剤をも凌ぐ勢いで各製薬会社が開発している。

分子標的治療薬は、小分子化合物（キナーゼ阻害薬）と大分子の抗体薬（モノクローナル抗体）の二つに分類され、以下に示すような語幹の取り決めが、2006年にWHO世界保健機構によりなされた(表1, 2)。表1にあるように、必ずしも接尾語を意味するわけではないが、それらもまとめて記しておく。表2の薬品名はかなり接尾語が多くを占めている。

表1. 語幹に関する取り決め

Stem (語幹)	意 味	例
<b>-<u>m</u>ab</b>	monoclonal antibody	trastuz <u>m</u> ab
<b>-<u>o</u>mab</b>	<u>m</u> ouse origin	iburitu <u>m</u> ab
<b>-<u>u</u>mab</b>	<u>h</u> uman origin	panitu <u>m</u> ab
<b>-<u>x</u>imab</b>	<u>ch</u> imeric origin	ritu <u>x</u> imab
<b>-<u>z</u>mab</b>	<u>h</u> umanized origin	trastu <u>z</u> mab
<b>-<u>ci</u>-</b>	<u>c</u> ardiovascular target	beva <u>ci</u> zumab
<b>-<u>tu</u> (m) -</b>	<u>t</u> umor target	ce <u>t</u> u <u>m</u> imab
<b>-<u>n</u>ib</b>	<u>i</u> nhibitor	gefi <u>n</u> ib
<b>-<u>t</u>inib</b>	<u>t</u> yrosine kinase inhibitor	lapa <u>t</u> inib

表2. 分子標的治療薬

標 的	薬品名 (日本語および英語)	分子型	適 応	バイオマーカー
EGFR	ゲフィチニブ Gefitinib	低分子	肺腺癌	EGFR 変異
	エルロチニブ Erlotinib	低分子	非小細胞肺癌	EGFR 変異
	セツキシマブ Cetuximab	抗体	大腸癌	KRAS 野生型
	パニツムマブ Panitumumab	抗体	大腸癌	KRAS 野生型
EGFR/HER	ラパチニブ Lapatinib	低分子	乳癌	HER 過剰発現
HER2	トラスズマブ Trastuzumab	抗体	乳癌	HER 過剰発現
VEGF	ベバシズマブ Bevacizumab	抗体	大腸癌・肺癌	?
VEGFR	ソラフェニブ Sorafenib	低分子	腎癌・肝癌	?
	スニチニブ Sunitinib	低分子	腎癌	?
CD20	リツキシマブ Rituximab	抗体	B リンパ腫	CD20
	イブリツモマブ Ibritumomab	抗体 <sup>90γ</sup>	B リンパ腫	CD20
CD33	ゲムツズマブ Gemtuzumab	抗体	CD33 + AML	CD33
Bcr-Abl	イマチニブ Imatinib	低分子	CML	Bcr-Abl
	ダサチニブ Dasatinib	低分子	CML	Bcr-Abl
	ニロチニブ Nirotinib	低分子	CML	Bcr-Abl
プロテアソーム	ボルテゾミブ Bortezomib	低分子	多発性骨髄腫	
KIT	イマチニブ Imatinib	低分子	消化管間質腫瘍	KIT
	エベロリスム Everolimus	低分子	腎癌	
mTOR	テムシロリムス Temsirolimus	低分子	腎癌	

AML 急性骨髄性白血病, CML 慢性骨髄性白血病

## 結 語

以上述べたように、今回取り上げた接尾語の頭文字は letter a から letter z までの全ての alphabets に及んだ。言語学系の専門研究書、例えば西川盛雄著『英語接辞研究』<sup>5)</sup>には掲載がなくても、薬学・科学分野に見つかる接尾語がいくつかあった。これは想定外であった。理系分野には理屈で合成されたような語彙が多いことによるのかもしれない。すなわち、-j, -q, -r, -v, -x, -z で始まる接尾語も、化学、薬学等の分野では比較的容易に見つかった。西川氏<sup>5)</sup>も理

系分野では、新しく単語が造られやすいと、述べておられる箇所がある。

本論文の筆者らは、上述のように、漢字の構成に関して、次のような部分に注目してきた。例えば、商業取引と関係のある貨幣「購入」「売買」などの字には「貝」の字が含まれている。これまで筆者らが検討したところ、科学、化学の専門用語は、ちょうど漢字のように接頭語や接尾語をうまく組み入れた合理的な単語が多いとの印象を改めて強く受けるにいたった。

学部学生教育、大学院の授業、研究室のセミナーなどで役立てることを目標に本稿を準備した。学部新生のみならず、大学院生等が専門の勉強をする際にも役に立つことを心より願う。まだ不備な点、改良すべき点はあるに違いない。諸先生方からのご指摘も大歓迎である。加筆訂正などにより少しでも改善された教材作りの基礎資料になることが期待されると思う。

## 謝 辞

本原稿の執筆を終わるに当たり、筆者のひとり牧 純は、本論文執筆に直接・間接に教示いただいた先生方に衷心より深謝の意を表す。

牧 純が、英単語の接尾語に関心を持つようになった契機は、中学校時代を送った浜松（静岡県）で、英語教育の私塾斉藤英語学校の斉藤謙三先生<sup>16)</sup>に教えを受けていた時である。例えば、極めて新鮮な感動が忘れられない単語に、**hamlet**がある。ShakespeareのHamletは固有名詞としてそのまま頭に定着していたが、分解すると**ham**（村）と縮小辞**-let**であり、その意味は「小さな村」であると説明を受けた瞬間である。その際、同時に教えられた、「カツレットは**cutlet**、パンフレットは**pamphlet**」にも感激した。中学校2年生であった。これが接尾語に関心を抱くようになったきっかけである。

その後、河合塾（名古屋）で教材『語源中心 新方式語彙力拡充法』<sup>12)</sup>においても大いに教えを受け、今回、改めて当時のテキストを読み返して随所に引用した。

横田眞二先生による素材から見る『からだと病の英単語』<sup>2)</sup>も素晴らしいテキストである。牧 純の前任校、北里大学医学部で担当していた授業「医学英語」において、重要な教材であった。

比較的最近では、西川盛雄著『英語接辞研究』（開拓社<sup>5)</sup>）を熟読し、教えられるところが極めて大きかった。

以上のように、長年にわたって諸先生方から教えを受け、知の糧となった内容はすこぶる多く、本文中にできうる限り引用した。しかし、筆者牧 純らは知らなかったが、世間ではよく知られていると思われるものについては、引用を割愛した箇所もある。

本論文は、優れた先人の先生方のお教えがもととなっているにもかかわらず、ここでは薬学部学生・大学院生向けの、ほんの入門的な内容でしかない。1つには、筆者らのラテン語、ギリシア語の知識の乏しいのが原因であろう。これは学名についても当てはまる。今後さらによりよいテキストを目指して邁進する所存であるが、語源研究は本来の専門外であることから、「日暮れて道遠し」の感は免れない。にもかかわらず、先人たちの優れた業績に鑑み、不撓不屈の精神で、少しでも改善を継続したいと考える。

なお、本論文の執筆に際して、松山大学薬学部生薬学研究室の好村守生博士には貴重な助言をいただいた。ここに謝意を表する。

#### 引用文献・参考資料

- 1) 編集代表石田名香雄：『医学英和辞典』研究社、東京、(1999)
- 2) 横田眞二：素材から見る『からだと病の英単語』－語源中心医用英語の持つ秘密－、南雲堂フェニックス、東京、(1999)
- 3) 編集代表小稲義男：『新英和大辞典』第5版、研究社、東京、(1992)
- 4) 岩崎民平・小稲義男監修：『新英和中辞典』第4版15刷、研究社、東京、(1977)
- 5) 西川盛雄著：『英語接辞研究』開拓社、東京、(2006)
- 6) 大木道則等編集：『化学大辞典』東京化学同人、東京、(1994)
- 7) 牧 純：“病と薬を表すことばの成り立ち”，新居浜生涯学習大学，松山大学公開講座－

- ことばで巡る世界の歴史と文化－新居浜市生涯学習センター，8月22日，(2009)
- 8) 牧 純，関谷洋志，渡部真衣，玉井栄治，坂上 宏：接頭語から入る薬学系の英単語のAからZまで（ノート），愛媛県病薬会誌，通巻110，15-18，(2012)
  - 9) 吉田幸雄，有蘭直樹：『図説人体寄生虫学』第8版，南山堂，東京，(2011)
  - 10) 渡部昇一：『英語の語源』講談社，東京，(1977)
  - 11) 小西友七・南出康世：ジーニアス英和辞典第4版，大修館書店，東京，(2007)
  - 12) 学校法人河合塾：準備シリーズ・英語『語源中心 新方式語彙力拡充法』（開講前の必須ガイド・ブック），(1969)
  - 13) 電子辞書 SII (Seiko Instruments Inc.)（ジーニアス英和大辞典等を内蔵）
  - 14) 加藤勝治編：『医学英和大辞典』南山堂，東京，(1974)
  - 15) 牧 純，玉井栄治，関谷洋志，舟橋達也，田邊知孝，坂上 宏，河瀬雅美：薬学・科学用語を中心とした接尾語のAからZ（ミニレビュー），愛媛県病薬会誌，通巻112，21-24，(2013)
  - 16) 齊藤謙三先生追悼文集編集委員会：『齊藤塾』同委員会編集・発行，(1986)
  - 17) 東 匡伸ら編集：『シンプル微生物学』改訂第5版，南江堂，東京，(2011)
  - 18) 北川 勲等：『生薬学（第4版）』廣川書店，東京，(1992)